

2018 Super Taikyu SUPER TECH FUJI 24h Race

2018 年 スーパー耐久 第3戦 スーパーテック富士 24 時間レース



10 年ぶりに国内 24 時間レースが復活！

注目の一戦“富士 24 時間”で PIAA ユーザーが活躍



PIAA ライティングシステム搭載の Y's distraction GTNET GT-R が総合優勝を獲得！

■概要／Outline

2008 年の十勝 24 時間レースを最後に国内での開催が見合わされてきた“24 時間耐久レース”がついに復活。6 月 2 日-3 日、富士スピードウェイを舞台に富士 SUPER TEC24 時間レース、通称“富士 24 時間”が開催された。

同イベントはスーパー耐久の第 3 戦として開催されており、計 8 クラスに 52 台がエントリー。国内としては 10 年ぶり、富士スピードウェイとしては 50 年ぶりの 24 時間レースとなるだけに、国内外のモータースポーツシーンで活躍する PIAA も数多くのチームをサポートしており、各クラスで PIAA ユーザーが活躍した。

なかでも、注目を集めていたのが、最高峰の ST-X クラスに参戦した ENDLESS GT-R、そして、Y's distraction GTNET GT-R の 2 台のニッサン GT-R ニスモ GT3 だった。同モデルは PIAA のライティングシステムをナイトセッション仕様車に標準採用しており、3 号車の ENDLESS GT-R が 1 日の予選でトップタイムを叩き出すほか、2 日の 15 時に幕を開けた決勝でもナイトセッションで好タイムを連発しトップ争いを支配。3 号車の ENDLESS GT-R はマシントラブルでポジションを落とすものの、GT-R の 99 号車、Y's distraction GTNET GT-R が終始安定した走りで過酷なレースを走破し、見事、国内 24 時間レースの復活イベントで総合優勝を獲得した。

さらに ST-4 クラスでは PIAA のランプシステムを採用した 884 号車 林テレンプ SHADE RACING 86 がクラス 2 位、29 号車 T's CONCEPT 小倉クラッチが 3 位で表彰台を獲得。このように各クラスでも PIAA ユーザーが躍進することで、ライティングシステムのパフォーマンスを改めて証明した。



#884 林テレンプ SHADE RACING 86



#4 THE BRIDE FIT



#28 T's PROJECT 86



#13 ENDLESS 86



#29 T's CONCEPT 小倉クラッチ 86



#3 ENDLESS GT-R



#99 Y's distraction GTNET GT-R (総合優勝)

■レポート/Report

2018年の国内レースシーンにおいて最大のトピックスとなるのが、24時間耐久レースの復活と言えるだろう。2008年の十勝24時間レースを最後に国内では24時間レースの開催が見合わせてきたが、6月2日～3日、静岡県富士スピードウェイを舞台に富士SUPER TEC24時間レースが開催され、国内では10年ぶり、富士スピードウェイでは50年ぶりに24時間レースが開催された。

スーパー耐久の第3戦に組み込まれ、通常ラウンドよりも多くのポイントが配点されることから、この国内24時間の復活イベントには計8クラスに52台がエントリー。安全性を高めるべく、富士スピードウェイでは照明設備を増設したことにより、ナイトセッションでも各コーナーは明るく照らされていたが、補助照明は必須のアイテムであり、優勝を目指す主要チームは明るいライティングシステムを求めているのだろう。その要望に応えるべく、WRC(世界ラリー選手権)やニュルブルクリンク24時間レースで豊富な実績を持つPIAA

も多くのチームにライティングシステムを供給しており、サプライヤーとして国内 24 時間レースへチャレンジした。

なかでも最大の注目を集めていたのが、最高峰の ST-X クラスにほかならない。同クラスは FIA-GT3 モデルを対象に争われ、今大会には 7 台のマシンが参戦。そのうちの 2 台が PIAA のライティングシステムを純正採用するニッサンの FIA GT3 モデル、ニッサン GT-R ニスモ GT3 で、3 号車の ENDLESS GT-R、そして 99 号車の Y' s distraction GTNET GT-R が PIAA 装着ユーザーとして総合優勝にチャレンジした。

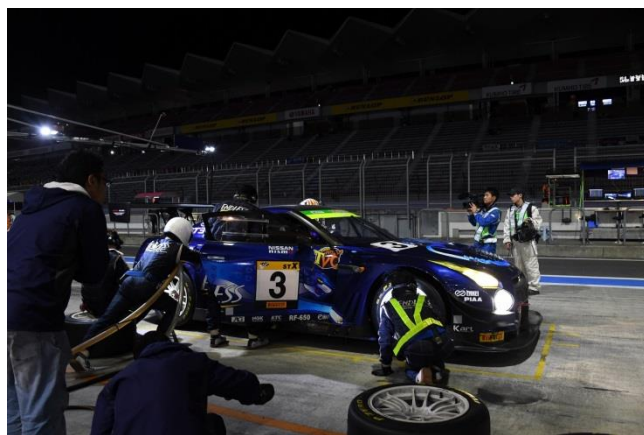
2 台の GT-R は 1 日の予選から好タイムを連発しており、ENDLESS GT-R がポールポジションを獲得。Y' s distraction GTNET GT-R が予選 2 位で続いており、2 台の GT-R がフロントローを独占した。

好天に恵まれるなか、2 日の 15 時に幕を開けた決勝でもニッサン勢の勢いは健在で、ENDLESS GT-R がトップを快走。Y' s distraction GTNET GT-R が 2 番手につけるなど、PIAA ユーザーが 1-2 体制を形成した。

前述のとおり、今大会は照明設備が増設されるほか、デジタルフラッグを設置するなど安全面が考慮されていたのだが、それでも 24 時間の耐久レースはドライバーにとってもマシンにとっても過酷な戦いであることに変わりはなく、今大会においても序盤からクラッシュやマシントラブルが続出。脱落者が相次ぐサバイバルレースが展開されている。

そして、その予想外のハプニングはレースを支配する ENDLESS GT-R に発生。ニッサンの 3 号車は PIAA のライティングシステムを武器にナイトセッションでも好タイムを連発、後続を引き離していたのだが、マシントラブルが発生したことでトップ争いから脱落することとなった。

代わってトップに立ったのが、ニッサンの 99 号車、Y' s distraction GTNET GT-R だった。一時はアウディ R8 LMS の 83 号車、Phoenix racing Asia R8 の先行を許すものの、99 号車、Y' s distraction GTNET GT-R はレース中に 2 回の実施が義務付けられていた 8 分間のメンテナンスタイムを早めに消化していたことから終盤に逆転に成功し、その後もトップを快走。結局、759 周を走破した Y' s distraction GTNET GT-R が後続に 5 ラップの差をつけて富士 24 時間レースを制覇、記念すべき国内 24 時間レースの復活イベントでウィナーに輝いた。



一方、1501cc~2000cc までの車両を対象にした ST-4 クラスには、4 台のトヨタ 86 が PIAA のライティングシステムを採用しており、ここでも PIAA ユーザーがトップ争いを展開。そのなかで抜群のパフォーマンスを披露したのが、884 号車の林テレンブ SHADE RACING 86 で一時はトップを快走していた。残念ながらメンテナンスタイムの時間不足に対するペナルティを受け、トップを譲ることとなったが、林テレンブ SHADE RACING 86 は 2 位表彰台を獲得した。同様に 29 号車の T' s CONCEPT 小倉クラッチ 86 もコンスタントな走りで 3 位表彰台を獲得した。



#884 ST4 クラス 2 位表彰台



#29 ST4 クラス 3 位表彰台



#13 他車からの衝突により残念ながらリタイヤ



#28 トラブルを抱えながらも完走を果たす

そのほか、1500cc 以下の車両で争われる ST-5 クラスではホンダ・フィットの 4 号車、THE BRIDE FIT がクラス 4 位入賞を果たした。



#4 THE BRIDE FIT にはハイズに HID システム、補助灯にも PIAA レース専用 HID ランプ[®] を装着



久しぶりの国内 24 時間レースとして注目を集めた富士 24 時間レースは、2 度に渡って赤旗で中断されるなど過酷な展開となったが、PIAA ユーザー多くが各クラスで躍進することによって、PIAA のライティングシステムのパフォーマンスの高さをアピールしており、夜間走行の安全性に貢献した。

PHOTO GALLERY



#99 深夜の走行



#99 補助灯に PIAA ナイトキット装着



#99 補助灯が広範囲を照射

PHOTO GALLERY



#3 路面を照らす HID ランプ



#3 コーナーを照射



#3 EC 規格のレースランプ

PHOTO GALLERY



#884 深夜の走行



#884 バンパーにPIAA HIDランプ



#884 初の2位表彰台

PHOTO GALLERY



#29 PIAA HID 装着



#29 広角に照射



#29 クラス3位表彰台

PHOTO GALLERY



#13 ヘッドライトを LOW、HI とともに PIAA HID システム装着



#28 PIAA HID 補助灯がサイド方向を的確に照射



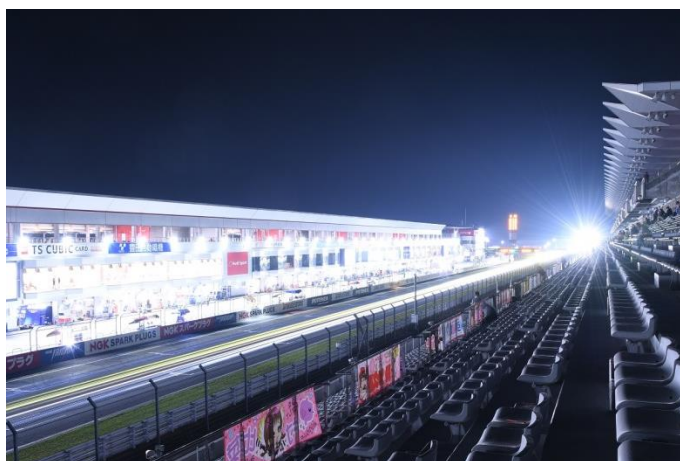
#4 PIAA 補助灯が両サイドを照射



#4 純正 LED ヘッドライトを PIAA HID ヘッドライトでサポート

近年、純正装着率が高い LED ヘッドライトを含む、標準仕様のヘッドライトだけでは 24 時間レースの攻略の難しさを 3 月と 5 月のテストで検証、多くのチームからヘッドライトチューンや補助灯の装着の要望があり、本番の 24 時間レースのナイト走行に対応していたが、その中でもニュル 24 時間レースや WRC などナイトセッションの実績がある PIAA ライティングシステムを装着した多くのチームが、この富士 24 時間レースで活躍した。





《TEST DAY》 ライトのセッティングの確認を実施

